

みんなちがって、みんないい

「私と小鳥と鈴と」金子みすゞより

社会福祉協議会（以下：社協）は、皆さん一人ひとりが持っている「福祉のこころ」に気づき、さらに深めていただくことを一番に願っています。そして、**福祉は特別なことではなく**、私たちの生活や身近なところにあるものだということをわかっていただくために「福祉体験学習」を行っています。

具体的な体験の内容を教えてください

車イス体験・高齢者疑似体験・
アイマスク体験です

車イス体験

車イスの機能や特性を学び、実際に人を乗せてコースを回ります。
乗る人、押す人それぞれの立場を考えます。

高齢者疑似体験

高齢者の特性を学び、専用装具を身につけ80歳前後の高齢者の身体特性を体験します。当事者や介護する人の立場を考えます。

アイマスク体験

視力の有無や程度、白杖について学びます。
アイマスクをつけている人と手助けする人で歩行し、それぞれの立場を考えます。

なぜ体験なのでしょう？

いろいろな人の立場を体感して考えることができます

体験のポイントとなることは

その1

体験は、車イスや白杖の取り扱い技術を習得するだけではありません。

その2

体験を通し、相手とのちがいと立場を理解し、共感することで、他者への思いやりや優しさを学びます。

その3

体験後、心身にハンデがある人への理解が深まります。

その4

福祉体験学習の体験は考えるきっかけです。自分ができる「手助け」は何かあるか考えてもらいます。体験した内容そのものでなくても、できることはたくさんあり、家族や友だちなど身近な人たちへの「手助け」から始めることができます。踏み出す一歩は、大きな成長と言えます。

福祉体験学習の流れを教えてください

事前打ち合わせ、学習の実施・
振り返りと進めていきます

事前打ち合わせ

主催者と社協職員が目的・意義・体験メニュー・学習方法等について打ち合わせます。

福祉体験学習の実施

社協職員と地域の方々が協力して福祉体験学習を実施します。

振り返り、そして一歩踏み出してみよう

学習のあと、振り返りの時間をとっていただきます。そして、一歩踏み出して身近なところで「手助け」を始めよう。

北沢地域で行ったふたつの交流会を紹介します。



北沢地域ではサロン・子育てサロン・ミニデイ合わせて現在約122グループが活動する一方、約113人のふれあい子育て支援事業の援助会員が子育て世帯を手助けしています。ご近所同士のつながりを軸に、それぞれの関わり方で支えあいの活動が地域にしっかりと根を張っています。「1日だけの子育てサロン」と「サロン・ミニデイスタッフ交流会」の様子をお届けします。

1日だけの子育てサロン ～北沢地域子育て事業協力者交流事業～

10月31日（金）松原ふれあいの家にて

子育てサロンリーダーやふれあい子育て支援事業の援助会員、地域の親子（未就園児）の皆さまにご参加いただき、「1日だけの子育てサロン」を開催しました。今年は、「親子ふれあい遊び」をメインに、手遊び・大型絵本・紙芝居などで楽しみました。

「親子ふれあい遊び」では、世田谷区親子体操指導者協議会の先生に、たくさんの親子遊びを教えていただき、リズムに合わせて身体を動かしたり、お膝の上に子どもをのせてゆらゆらしたりしながら、楽しい汗をたくさんかきました。手遊び・絵本・紙芝居では、子育てサロンリーダー・ふれあい子育て支援事業の援助会員の皆さんの紹介とともに、それぞれ迫力のある読み聞かせを披露していただき、親子との交流をはかりました。

当日のアンケートでは「体をつかって子どもとふれあいながら楽しく運動できました」「娘が紙芝居や絵本を、テーブルの所でじっと集中して見ていることに驚きました」「手遊びが楽しそうでした」「皆さんの紹介をしてもらえて良かったです」等、たくさんの嬉しいお声をいただきました。



サロン・ミニデイスタッフ交流会

12月5日（金）北沢タウンホール2階第1・2集会室にて

今年の交流会は、「回想法風プログラム～在りし日のわたし、一枚の写真で楽しくおしゃべり～」を行いました。

まずは、打ち解けていただくために行った自己紹介。グループ名と氏名の後、「最近食べたおいしい物」を言ってもらいました。皆さんそれぞれのお品書きが出来て、想像のテーブルにはおいしそうなお馳走が並びました。

場が温まったところで、プログラムの始まりです。まずは体験してみようと言うことで、各班の司会（職員）の仕切りに合わせておしゃべりがスタート。あらかじめ5人の方からお借りした思い出の写真を使って、司会がインタビュー形式で話を盛り上げます。写真の思い出を聞かせていただきながら、その写真を撮った年代に話を移すと、多くの人が知っているその時代の流行や世相が見えてきます。「その頃あなたは何をしていましたか？」そんな切り口で話はさらに盛り上がります。

体験後は、皆さんが司会をやる想定でのお勉強。体験を資料で復習する感覚で、ポイントを学んでいただきました。「今後の活動に活かしてみたい」という積極的な感想をいただきました。



地区社協は、地域住民がまちの福祉を高めることをめざして、主体的に活動している組織です。活動の財源は皆さまからいただいた社協会費です。今号では平成26年度の活動を振り返っての感想と来年度の抱負について掲載いたします。

梅

今年度も梅丘地区では、夏の恒例となっている城山・花見堂・山崎小のこどもまつりに参加し、手作りうちわなどのコーナーに協力しました。秋からは、五つのエリアで推進員が工夫を凝らした手作り高齢者交流会を開催し、余興を楽しみながら親睦を深めました。そのほかには、車いす・アイマスク体験などの福祉学習支援、ちょっと足を休められるみんなのベンチを梅丘まちづくりセンターに設置、推進員の活動向上に向けた話し合い(研修)を行ないました。

来年度は、地区の見守り力アップにつながるよう活動の充実を図ってゆきたいと思います。

会長 小原 朗子



「エリア別交流会」

身近な地域での親睦をテーマに、各エリアの推進員が趣向を凝らした交流会を開催しました。

丘

代

代沢地区社協は発足して8年が経ちました。地域にすっかり定着した「わなげ交流大会」や地区内3ヶ所で同じ企画で行った「地域でつどいましょう」では地域の高齢者との交流が深まりました。特に推進員手づくりの豚汁のおもてなしは好評でした。

また「ミニわなげサロン」ではわなげの他、おりがみ、おしゃべりを楽しみました。社協が協力して開催された「クリスマスコンサート」では多くの世代を超えた参加者があり、毎年楽しみに来てくださる地域の皆さまとの顔みしりが増えました。

来年度も事業のさらなる充実^{あきいろ}に努め、推進員さんと共に知りあい、ふれあい、支えあって活動に取り組んでまいりたいと思います。

会長 都崎 裕子



「わなげ交流大会」

今年度は初めての同点決勝が行われ、大変盛り上がりしました。

沢

新

平成26年度は、代田区民センターのオープニングイベントから始まりました。地域に貢献でき、また地区社協を知っていただく大きな機会となりました。「文化・芸術ふれあい会」では新たに「絵の講座」を開催したことで、世代を超えた多くの方に参加いただき、地区社協の活動をお伝えできました。「バス交流会」では自然を満喫し、「音楽秋彩交流会」では心とむひとときを過ごせました。その他「そらまめ交流会」、福祉学習への協力、サロン等との連絡会、募金等被災地への支援も続けることができました。

来年度も推進員さん皆で力を合わせて、より安心して暮らせるまちづくりを目指して、頑張っ^{あきいろ}てまいります。

会長 手嶋 きみ子



「文化・芸術ふれあい会」

「絵手紙」と「ボタニカルアート」講座を同時開催。最後にできあがった作品を発表しあい、お話も弾みました。

代

田

主な活動エリア **梅丘**：梅丘1～3丁目、豪徳寺1～2丁目、代田1～3丁目
代沢：代沢1～5丁目、池尻4丁目33～39番地
新代田：代田4～6丁目、羽根木1～2丁目、大原1～2丁目
北沢：北沢1～5丁目
松原：松原1～6丁目
松沢：赤堤1～5丁目、桜上水1～5丁目

北

地区社協発足当初は役員中心の事業運営でしたが、活動を重ね推進員の得意分野を活かしてリーダーを決め、事業を企画・実施するようになりました。

「春の歩こう会」では代々木公園から新宿御苑、「秋の歩こう会」では大國魂神社から府中市郷土の森博物館まで歩き、参加者同士交流を深めました。「高齢者交流・茶話会」では落語、マジック、体操、おしゃべり、歌を存分に楽しみました。「わなげ大会」は7回目となり、子どもから高齢者まで一緒にわなげを楽しみました。「高齢者バス交流会」は箱根方面に出かけ、リニューアルされた大涌谷くろたまご館で昼食を楽しみました。次年度も愛される地区社協を目指して活動してまいります。

会長 大野 好恵



「高齢者バス交流会」

初対面の方同士でもお話しが弾み、地区の中で顔見知りが増えました。

沢

松

平成26年度の松原地区社協の事業は、5月の「春の歩こう会」から始まりました。毎年恒例の「ふれあい小動物ひろば」、松原小学校の「デイキャンプ」「昔あそび」や「新春松原落語会」では、子どもから大人まで楽しみながら交流を深めることができました。

今年度の新規事業「災害弱者支援講座」では、知的・発達障害者への理解を深め、災害時の支援体制作りの一歩を踏み出すことができました。

また、3月には介護者同士、日頃の苦労や悩みを共有できるように「介護者交流会」を予定しています。

松原地区社協は、今後も一層、誰もが安心して暮らせるまちを目指して、努力してまいります。皆さまのご協力をお願いいたします。

会長 上原 繁



「災害弱者支援講座」

知的・発達障害者の疑似体験などをしながら、具体的に学びました。

原

松

私たちのモットーである「参加する人も企画する人も楽しい気持ち」を大事にしながら事業を丁寧に行いました。運営委員もお互い力を合わせ、今年もがんばりました。事業ひとつひとつが地区の中で定着してきたと感じるのは「次はいつですか?」とか「楽しかった! また、お願いします」などのお声を聞いた瞬間です。事業の準備は大変でも、皆さんの楽しげな顔を拝見するとやって良かったと思います。

3月は次年度の事業計画を作る月でもありますので、事業実施後の反省を総括しながら、来年度に臨みたいと思います。

会長 松下 寛子



「地区社協まつり」

地区社協をより多くの住民の皆さんに知っていただきたい。そんな思いから企画された事業です。

沢

各地区社協に関するお問い合わせは…

北沢地域社会福祉協議会事務所 ☎ 5465-7541 FAX 5465-7543



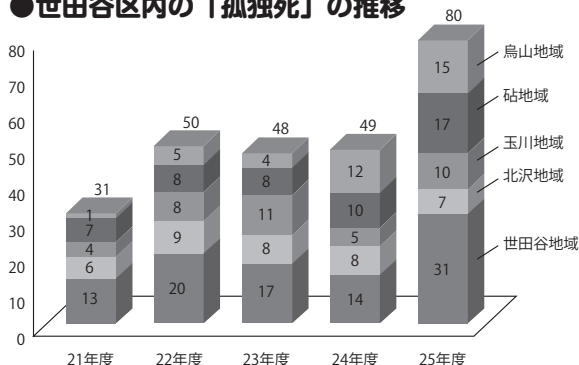
ふれあいサービス情報

—「孤立死」と見守りについて—

2月6日（金）、北沢地域協会員懇談会を行いました。今回は、「孤立死」と見守りをテーマに取り上げ、世田谷区内の実態や背景、施策等を紹介しました。その中で、継続的に関わりを持つことのできるふれあいサービスの活動自体が有意義な見守り活動の1つであることや、ふだんの暮らしの中でのちょっとした「気づき」の連絡が、問題の早期解決につながるなど、様々な見守りのあり方について話し合いました。

右のグラフは、世田谷区内の「孤立死」の発生件数の推移です。平成25年度は80件と、前年度に比べ大幅に増えています。社協では、人間の尊厳に関わる「孤立死」を未然に防ぐために、これからも安心して住み続けられる、つながりのある地域づくりに取り組んでいきます。

●世田谷区内の「孤独死」の推移



※「孤立死」の件数

高齢者が誰にも看取られずに自宅で死亡し、死後数日を経過し発見されたもので、区及びあんしんすこやかセンターにて把握できた件数

世田谷区社協の取り組み例

※地域支えあい活動の支援

身近な地域での仲間づくりや閉じこもり予防等を目的として、住民の皆さんがスタッフとなって運営しているグループ活動を支援しています。グループ活動を通じて顔見知りになることで、日常生活の中でもゆるやかに見守り合える関係づくりが期待できます。

ふれあい・いきいきサロン98団体、支えあいミニデ15団体、子育てサロン8団体（数字は平成27年3月1日の北沢地域内の団体数）

※地区社会福祉協議会の活動支援

地域の課題を自分たちで協力して解決できるよう組織された住民の皆さんの組織で、様々な事業を通じて「地域のつながり」作りを行っています。

見守り事業（「命のバトン」「あんしんカード」）、世代交流事業、在宅介護者交流事業 など

※ふれあいサービス事業

協会員が訪問し、家事や介護等の支援をするふれあいサービスは、定期的、継続的に関わりを持つことのできる有意義な見守り活動の1つです。

※その他

あんしん事業（地域福祉権利擁護事業）、成年後見制度の利用支援、プラットホーム世田谷（世田谷区生活困窮者自立相談支援センター）での事業、地域福祉活動を担う人材の育成事業 など

～長時間活動協会員感謝状贈呈式の紹介～

毎年、ふれあいサービス事業の協会員としての活動時間が500時間以上となった皆さまに感謝状をお贈りしています。

今年度、北沢地域では、神内恵美様と藤田直子様^{めぐみ}の2人が該当されました。感謝状の贈呈式はご都合により神内様お一人のご出席でした。

長年のご活動に深く敬意を表します。



歳末たすけあい・地域支えあい募金 ご協力ありがとうございました。

厳しい経済状況にも関わらず、皆さまの福祉への温かい想いが募金となって社協に寄せられました。募金は支援を必要とする方等へのお見舞金・お祝い金、地域福祉の充実を図るための地域福祉活動費等に使用させていただきます。

1. 募金総額（平成27年1月30日現在）

北沢地域社協事務所 9,977,340 円
世田谷区社会福祉協議会 46,061,751 円

北沢地域社協事務所：地区社協別募金額内訳



地区社協名	募金額	地区社協名	募金額
梅丘	2,337,010 円	北沢	892,275 円
代沢	1,320,318 円	松原	1,475,760 円
新代田	1,642,401 円	松沢	2,309,576 円



2. 募金使途内訳

(1) お見舞金・お祝い金

北沢地域社協事務所 2,703,000 円
世田谷区社会福祉協議会 10,521,000 円

お見舞金・お祝い金内訳

対象		単価(円)	北沢地域社協	世田谷区社協
①	支援を必要とする世帯	1世帯 8,000 + 1人 2,000 加算	39世帯67名 368,000 円	194世帯371名 1,906,000 円
②	支援を必要とする世帯・ 小中学校入学お祝い金	15,000	2名 30,000 円	8名 120,000 円
③	在宅要介護高齢者 介護者	5,000	375名 1,875,000 円	1,261名 6,305,000 円
④	在宅重度障害者(児) 介護者	5,000	86名 430,000 円	438名 2,190,000 円

(2) 平成27年度地域福祉活動費等 35,540,751 円

- ① 地域支えあい活動支援事業（ふれあい・いきいきサロン）
- ② 小地域福祉活動推進事業（地区社協）
- ③ 福祉情報提供事業（いきいき福祉等）
- ④ フードバンク事業（生活困窮者自立相談支援センター）

※活動費に一部事務費が含まれます

お知らせ・ご報告

ご寄付のご報告



平成26年9月～平成27年1月受付分

月 日	氏 名 (敬称略)	金 額 (円)
12月 1日	岩田 弘靖	13,032 円
12月12日	北沢間税会	100,000 円
12月26日	鈴木 晴久	2,000 円
1月13日	日本キリスト教団 東京都民教会	17,755 円



ご厚志に感謝申し上げます。地域福祉推進のために大切に活用させていただきます。

福祉喫茶「桜ん房」営業再開のお知らせ

砧図書館の改修工事に伴い、休業しておりました喫茶桜ん房が、3月1日に営業を再開いたしました。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

所在地: 世田谷区祖師谷3-10-4 砧図書館内

営業時間: 11時～17時 (16時30分ラストオーダー)

休業日: 月・第2木曜日

問合せ先: ふれあいサービス係 電話 5429-2205



世田谷地域社協事務所移転のお知らせ

世田谷地域社協事務所が移転します。

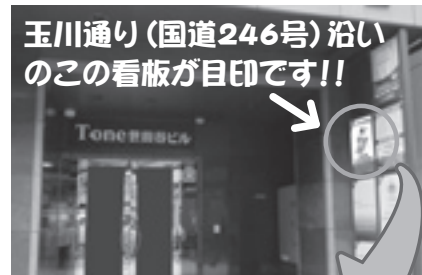
3月30日(月)から新しい事務所で業務を開始します。

所在地: 世田谷区太子堂2-12-2 T-one 世田谷ビル5F

電話番号: 3419-2311 (変更なし)

F A X: 3419-2354 (変更なし)

玉川通り(国道246号)沿いのこの看板が目印です!!



地図・外観図

